



熱中症を防ぎましょう！

体温の調節能力が十分に発達していない子どもや、体温の調節能力が低下している高齢者は『熱中症』には、特に注意が必要です。

熱中症 予防

【室内】 扇風機やエアコンを使って温度を調節しましょう

【室外】 日傘や帽子を着用し、日陰を利用してこまめに休憩しましょ

のどの渇きを感じなくても、水分(水・麦茶・黒豆茶など)やスポーツドリンクでこまめに水分補給を行いましょ。

※アルコールやカフェイン入りの飲料(コーヒーや緑茶など)は、水分補給には適していません。



熱中症が疑われる症状

体温が高い 筋肉痛 めまい 大量の発汗
吐き気 倦怠感 頭痛



呼びかけに応えることができ、
水分補給ができる場合

呼びかけに応えることができず、
水分補給ができない

涼しい場所に避難し、身体を冷し、
水分補給をしっかりと行ってください。
症状が改善しない場合は医療機関を
受診してください。

すぐに医療機関を受診してください
意識障害や熱けいれんなどの症状が
ある場合は、救急車を呼んだほうが
良い状態です





●脳梗塞？

熱中症の症状と類似した病気の一つに脳梗塞もあります。
脱水をおこしやすいこの時期は、脳梗塞をおこしやすくなります。

このような症状がある場合、熱中症だと自己判断せずにかかりつけ医、もしくは#7119に相談しましょう

- ・手足のしびれ
- ・頭痛 ・呂律が回らない
- ・倦怠感 など

●コロナ感染症が増加しています

熱中症とコロナ感染症では、発熱、頭痛、吐き気など、似ている部分があり、「どちらの可能性が高い」か、判断がつかない場合があります。

どちらか判断がつかない場合は『発熱外来』での診察をお願いすることがありますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

コロナ感染症の症状

- ・頭痛 ・吐き気 ・鼻水
- ・倦怠感 ・発熱 ・寒気
- ・関節痛、倦怠感・のどの痛み ・咳

●発熱がある方や、発熱があった方、コロナの疑いがある方、
風邪症状がありコロナ(インフルエンザ)の検査を希望されている方は
『発熱外来』での診察になりますので、お電話にてお問合せ下さい。



●熱中症の疑いがある方も、お電話にてお問合せ下さい。

TEL 072-261-4782

【発熱外来 TEL 受付時間】 8:30~11:00 14:00~18:00 (月・水・金)
8:30~11:00 (火・木・土)

『発熱外来』の診察では、通常の診察の兼ね合いで、お待たせする時間が長くなる場合がありますので、水分補給のための飲み物をお持ちください。

院内では、マスクの着用をお願いいたします。